

3 課題別研究グループ 『道徳教育チーム』の研究

(1) 研究課題

(2) 研究内容

『道徳教育チーム』の所員

渡 辺 浩 輔 (旭ヶ丘 小学校)

難 波 茂 伸 (八丁平 小学校)

北 原 英 法 (桜 蘭 中学校)

3 道徳教育チーム

小学校では2020年、中学校では2021年に「特別の教科 道徳」となる。道徳の教科化に向けて、より一層の道徳教育の充実並びに道徳の時間の授業改善が求められている。室蘭市教育研究所でも、本年度から「道徳教育チーム」を設け、教科化に向けて準備を行っている。

(1) 研究課題

「考え、議論する」道徳科への転換

道徳の時間が「特別の教科 道徳」となる。授業面と制度的な転換があるが、より重要なのは“授業面の転換”である。これから求められる道徳科の授業は「考える道徳」、「議論する道徳」と言える。資料読み取りの授業から「考え、議論する道徳」への転換が望まれる。

(2) 研究内容

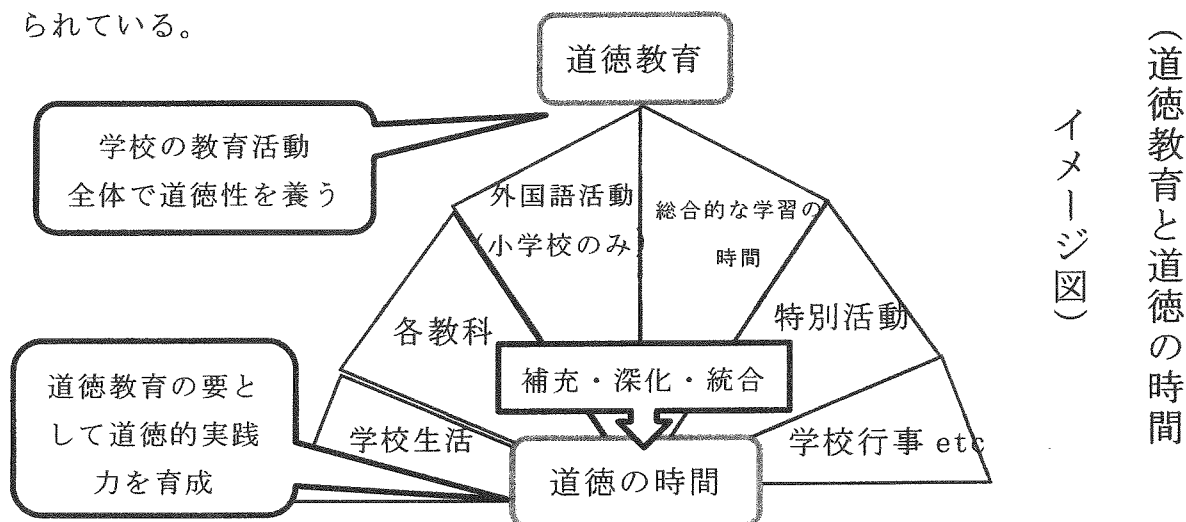
日々の授業を行う前に、学習指導要領の内容を理解しておかなければならない。道徳科の授業を行う上で重要な要点を確認していきたい。

①道徳教育と道徳の時間の違い

道徳教育と道徳の時間を混同する場合がある。道徳教育と道徳の時間の違いを確認しておきたい。

道徳教育	児童生徒の <u>道徳性</u> を養うことを目的に、 <u>全教育活動を通じて行われるもの。</u>
道徳の時間	道徳の授業（年35時間）において、 ○取り扱う機会が十分でない内容項目を <u>補う。</u> （補充） ○実態等を踏まえて、一層 <u>深める。</u> （深化） ○内容項目の相互関連を <u>捉え直したり、発展させていく。</u> （統合）

道徳の授業は、全教育活動で行う道徳教育の「要(かなめ)」の時間として位置づけられている。



②学級活動と道徳の時間の違い

学級活動と道徳の時間の違いも確認しておきたい。

学級活動	「望ましい集団活動」を通して、自主的・実践的な態度や健全な生活態度の育成。 →学級活動は、「態度（評価規準あり）＝行為」の変化を、即効性を期待して指導する。 ◆効果が期待されるのは、主として現在の活動状況となる。
道徳の時間	「<u>道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度</u>」を育む時間。 →道徳の時間は、適切な行為を主体的に選択し、主体的に実践することができるような<u>内面的な資質</u>を育成する時間。「道徳的態度（評価規準なし）≠行為」の変化を、即効性としては期待しない。 ◆効果が期待されるのは、主として現在、将来、広く社会全般となる。

③道徳の時間が教科化になった理由

今までも道徳の時間があった。道徳が教科化になった理由は何なのだろうか？
主に2つの理由が挙げられる。

社会的背景	○ 「いじめ」問題への対応。(善悪の指導) ○ 高度化・複雑化した社会への対応。
道徳授業の課題	○ 他教科に比べ軽んじられているのではないか。 ○ わかりきったことを発言させる授業。 ○ 「読み物」での心情理解に偏った形式的・受身的な授業。

困難な問題に主体的に対処できる実効性のある力の育成

学校や教師によって
差がみられる

だから、道徳の時間が教科化に！

確認 教科化までのスケジュール

- 平成27年3月に学習指導要領を改訂
- 平成27年～29年 移行期間
- 平成29年～ 小学校教科書採択
- 平成30年～ 小学校完全実施 中学校教書採択
- 平成31年～ 中学校完全実施

④教科化で変わること(授業面&制度面)

道徳科となることで様々なことが変わるが、何がどう変わるのだろうか。

【授業面での転換】

上記の基本的な考え方を受けて、授業面では以下の転換が望まれている。

発達の段階に応じ、例えば、「正義」とは何か、「権利と義務」とは何だろうといった、答えが一つではない課題を、一人一人の児童生徒が道徳的な問題と向き合うことができる授業への質的な転換を図る。

「考える道徳」、「議論する道徳」への転換(内面的な資質・能力を主体的に養う指導へ)

【制度面での転換】

制度面での転換も確認しておきたい。

- 道徳科に検定教科書を導入する。
→ 教科書は学年ごとに分冊となる
- 数値による評価ではなく、児童生徒の学習状況や道徳性に
係る成長の様子を把握(記述式)する。
→ 個人内評価(優劣は決めない)とする。

ここで、最も注意しておきたいのは、道徳科は「個人内評価」ということだ。他教科は、目標に準拠した評価だが道徳科は、評価方法も、指導方法も違ってくる。だから、道徳の時間が「教科」となるのではなく、「特別の教科」という名称になっている。

⑤教科化で変わること(目標&内容項目)

以下が道徳科の目標である。「道徳的実践力」という文言が削除され、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度(道徳性)で一本化された。

道徳科の目標

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、自己(人間として)の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 ※ ()内は中学校の表記

今回の改訂で、内容項目も整理された。従来の1-(1)などのように数字を用いた略称ではなく、キーワードで端的に表現することにより、指導する内容が伝わりやすくなった。

また、内容項目の全体の一貫性がわかりやすくなるとともに、発達の段階ごとの違いも意識しやすくなった。

内容項目

- A 主として自分自身に関する事
- B 主として人との関わりに関する事
- C 主として集団や社会との関わりに関する事
- D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事

⑥本市における実践事例から

【小学校第3学年 道徳の時間】

- 1、 主題名「決めた事は最後までやり抜く」A－(5) 希望と勇気、努力と強い意志
- 2、 資料名『はっきり言えるようになった』(出典:光村図書「きみがいちばんひかるとき」)
- 3、 本時のねらい:自分でやろうと決めたことは粘り強くやり遂げようとする態度を育てる。
- 4、 本時の展開

段階	○学習活動 ・予想される児童の発言や心の動き	○指導上の留意点 ・評価の観点
導入	1. 本時の課題を確認する。 最後まで諦めずにがんばった経験はありますか。 ある→○ ない→× 粘り強くやり遂げるとはどのようなことだろうか。	○理由などを聞きながら、課題への焦点化を図る。 教材内容に関心をもたせています。
展開前段	2. 資料を読み、考える。 ○最初にほめてもらったときの気持ちを考える。 友だちや先生からほめてもらった「ぼく」は、どんなことを考えていたでしょうか。 ・うれしい ・くやしい ○最後のほめてもらったときの気持ちを考える。 友だちや先生から拍手をもらった「ぼく」は、どんなことを考えていたでしょうか。 ・うれしい ・がんばってよかった ◎決断するまでの葛藤を考える。 母親からアドバイスをもらってから、がんばろうと決断するまで、どのくらいの時間がかかったと思いますか。 ・時間が短い…すぐに決断した ・時間が長い…決断までに時間がかかった 時間がかかったのなら、決断するまでにどんなことを考えていたでしょうか。 ・ぼくにできるかな ・苦手だけど、言えるようにがんばるぞ ・まだできないかもな ・お母さんに応援してもらいながら頑張ろう。	主題に関わる問題意識を高めています。 ○児童の意見をまとめながら板書するよう配慮する。 ○1回目の拍手と比較して、努力を重ね成功すると、より良い気持ちになることに気付かせたい。 ○考えを書いた後、ペアやグループで交流し、他者理解を図る。 ・価値に対する自分の考えを表現しようとしているか。
展開後段	3. 学んだことを振り返り、自分のことについて考 自分が苦手なことについて、同じアドバイスをもらったとしたら、できますか。 できる→○ できない→× できる時とできない時がある→△ 今日の学習で感じたことや学んだことを書きましょう。	○友達の発表につなげて話すことが出来るよう工夫して指名する。 ・学んだことや感じたことを、ワークシートに表現しようとしているか。
終末	4. 学んだことを広げる。	○稲葉選手の胸上げシーンを提示し、やり抜くことの良さを語る。

物事を多面的・多角的に考えさせる発問です。

学習形態を工夫しています。

自分事として、道徳的な価値を深めています。(価値の一般化)

【中学校第3学年 道徳の時間】

- 1、主題名「決めた事は最後までやり抜く」A－(4) 希望と勇気、克己と強い意志
- 2、資料名『歌の世界で太陽になりたい』（出典：学研「かけがえのないきみだから」）
- 3、本時のねらい：人生の理想や目標を求めて、困難や失敗があっても、それを乗り越え最後までやり遂げようとする強い意志を育てる。

段階	学習活動・内容	主な発問と予想される反応	◆支援上の留意点 ※学習形態
導入	・美奈子さんの紹介にふれて、彼女の生き方に目を向けさせる。 ・映像2から、感想を言う。 ・学習課題を提示する。	○次に紹介する人は、誰でしょう。 ○では、この映像を見て下さい。 - 映像1（アイドル時代） ・パワーポイントで経歴紹介1	◆クイズ形式で興味関心をもたせる
本田美奈子さんから人生の理想を実現するためには何が必要なのかを考えよう			
展開前段	- 配付資料①を読み聞かせる ・うまく出来なくても、諦めず前向きに取り組んだ姿勢やさらに上を目指す本田美奈子さんの行動の理解を深める。	○「アイドルだった本田美奈子さんは、どんな思いで『ミス・サイゴン』の稽古に取り組んだでしょう。」 - 発問のねらいを明確にしています。 ・パワーポイントで経歴紹介2 - 映像2（アメイジンググレイス）	◆ミュージカルスタートしての地位を築きあげたことを補足説明する。 ※ペアで行う

資料の内容に関心をもたせています。

友達のと自分の考えの相違に気づかせるために学習形態を工夫しています。

中心題材を効果的に提示しています。

⑦求められる道徳の姿（まとめ）

道徳授業が教科となる。これは我々にとって大きなチャンスである。この変革を機に、もう一度どのような道徳の姿が求められているのかを考えることが大切である。

① 道徳授業の指導と評価の工夫・改善

- 形式的・受け身的な授業から、「考え、議論する道徳授業」への転換を図るための指導方法の工夫・改善、日常実践の積み上げ。
- 一人一人の良さや成長をみとる評価の在り方。

② 道徳教育の視点からの学校スタンダードの確立

- めざす児童・生徒像の明確化・共有化・重点化。
 - ・ 「年間35時間」－「価値項目数」＝「学校裁量の時数」
 - ・ 重点指導、複数時間指導等をどのように取り扱っていくのか。
 - 道徳教育に対する学校の考え方が問われる。
- 道徳教育の全体計画（別業含む）及び年間指導計画の作成と工夫・改善が重要。

最後に、しごく当たり前のことであるが、児童生徒の心に響く楽しい道徳授業を展開していくためには、日頃からの言語活動、信頼関係・人間関係の醸成が大切になる。

4 課題別研究グループ 『外国語教育チーム』の研究

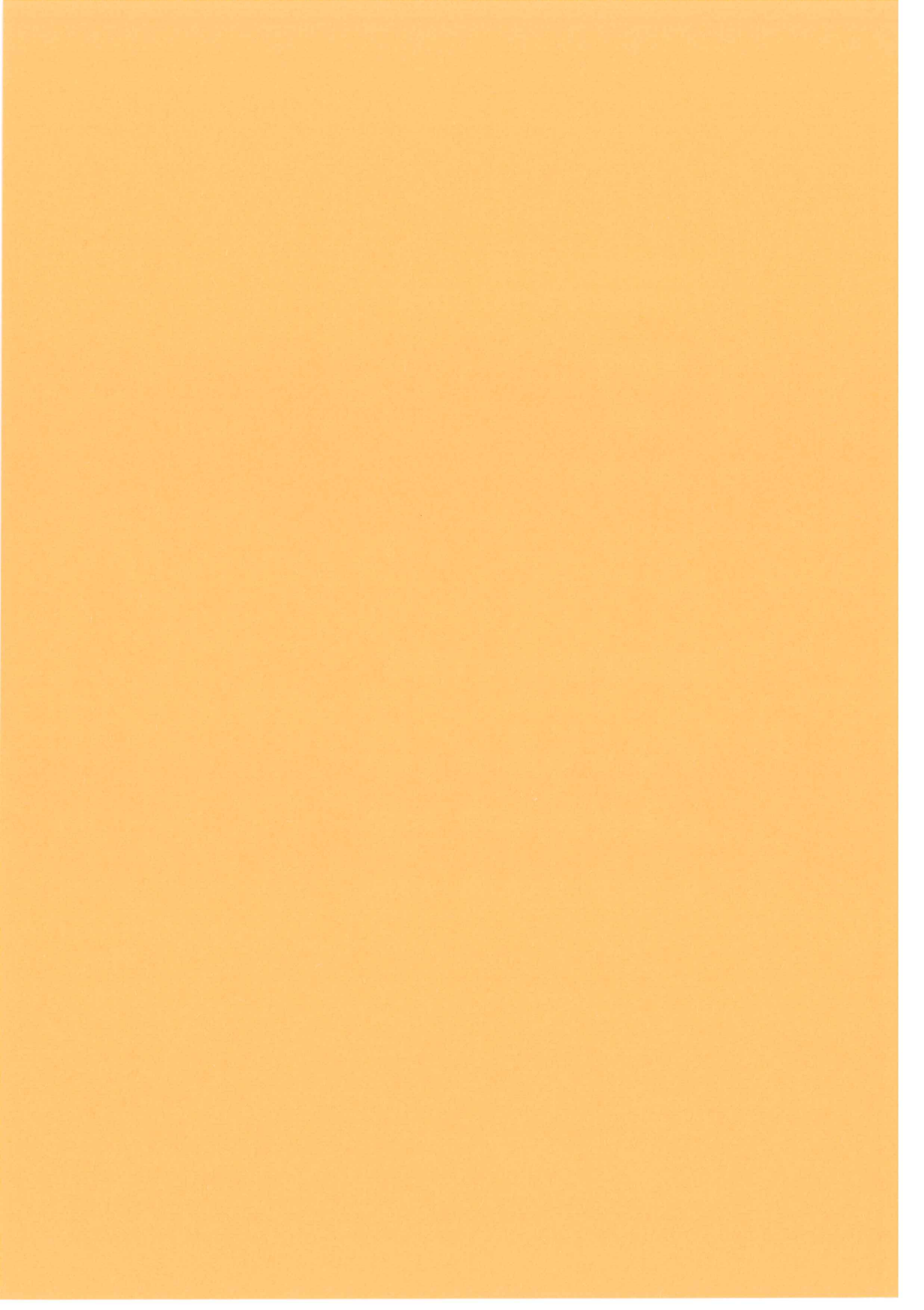
- (1) 研究内容
- (2) 実践例
- (3) 成果・課題

『外国語教育チーム』の所員

相 馬 和 俊 (海 陽 小学校)

佐 藤 はるひ (知利別 小学校)

桐 敦 子 (東 明 中学校)



4 外国語教育チーム

(1) 研究内容

外国語活動が教科化され教科書が整備されるまでの期間、中学校との円滑な接続を意識し学習指導要領の目標である、①言語や文化に対する理解を深めること、②積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図ること、③「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」などのコミュニケーション能力を養うことを踏まえた、効果的な実践が求められる。

中学校で必要な言語材料を先に練習し、それを使って活動するのではなく、児童の「聞きたい、伝えたい」という気持ちを引き出す活動につながる教材や、単に知識を身に付けさせるのではなく、実際のコミュニケーションを目的として外国語活動を運用することができる能力の基礎を育む教材の開発と、それを活用する教員の研修を進めていきたい。

(2) 実践例

授業をビデオに撮りため記録し、1、教室英語 2、絵本の活用 3、単語や表現の学習 4、ALTとの打ち合わせ 5、歌の活用 6、アルファベットの音 7、授業指導案の作成 8、他教科等と関連した内容を取り入れた活動 の8項目に視点を当て、授業に役立つ資料作りを行った。

(＊上記の8項目は英語教育推進リーダー中央研修で提示された項目による)

今年度は1、教室英語と 2、絵本の活用を重点に授業実践に取り組んだ。

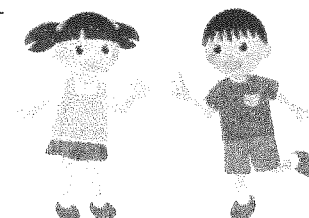
<教室英語・Classroom English>

Classroom English を使うよさ

- 自然な意味のあるコミュニケーションのために、英語を聞いたり言ったりすることができる。
- 実際に英語でコミュニケーションをすることで自信がつく。
- 生活に身近な言語表現が多く、教室の外への広がりも期待できる。

児童にも Classroom English を

- 視覚的に助ける
Picture card, poster
- 体も使って
Simon says game
- デモンストレーション(やってみる)
- 児童の日本語には英語で答えて



Classroom English を増やそう

1. 挨拶

Ex: Good morning. How are you?

What day is it today?

2. ほめる・励ます

Ex: That's right. Nice try. Close.

3. ゲーム・活動

Ex: Let's sing a song. Make pairs.

Your turn. My turn.

4. その他、基本表現

Ex: Open your textbook page to ~.

Raise your hands.



Classroom English いろいろ

1. Greetings

Ex: Good morning, everyone. How are you today?

2. Classroom Instructions

Ex: Stand up. Sit down. Look at the whiteboard.

3. Game Instructions

Ex: First, second... Make groups of three.

4. Questions and Comprehension Checks

Ex: Is this OK? What's ... in Japanese?

5. Books and Worksheets

Ex: Which page? (I've) finished.

6. Transitions

Ex: Ok. Stop. Next. Hands on your(head)!

7. Interactive language

Ex: One more time, please! Can you help me please?

8. Game Language

Ex: Well done. Here you are.

9. Class Rules: Please...

Ex: speak English / bring your things

10. Class Rules: Don't...

Ex: turn around / talk / chat



<絵本の活用>

児童にとって、なぜよいか

1. 楽しく・考えながら・想像しながら、英語のインプットができる。
2. 絵本の絵が、ストーリーや状況の理解を助けてくれる。
3. 教室の中で、リアルな時と場を感じることができる。
4. 異なる文化や、ものの見方に触れることができる。

指導者にとって、なぜよいか

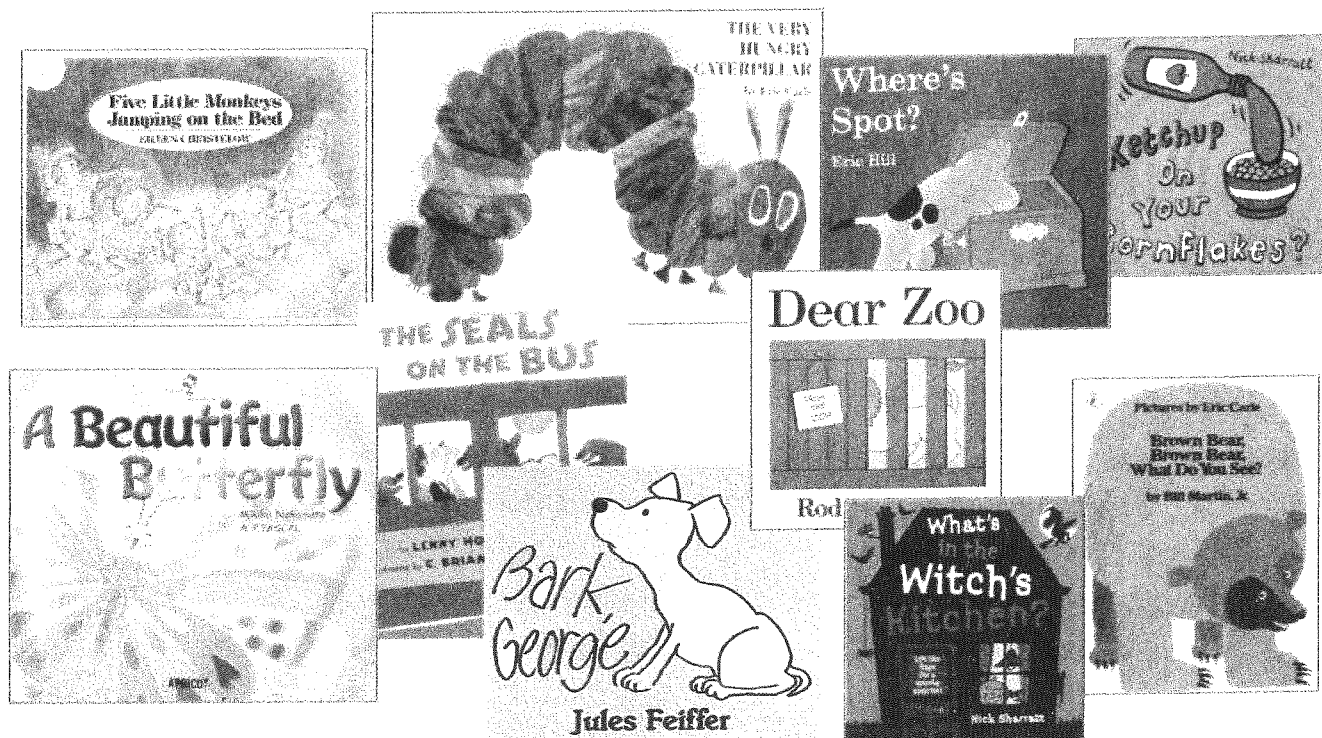
1. 英語のインプットを、より充実させることができる。
2. 指導者と児童の、会話の必然性が生まれる。
3. 語彙や文構造を、文脈の中で提示することができる。
4. 活動のヒントを得たり、アイデアが生まれたりする。
5. 英語活動のペースに変化をつけることができる。

どんな絵本がよいか

1. くり返しがある。
2. リズム感がある。
3. ストーリーが簡潔である。
4. 絵が鮮明で、はっきりしている。
5. メッセージ性がある。（＊高学年）

どんなふう to 読むか

1. 指導者自身の言葉で。
2. 表情豊かに、動作やジェスチャーをつけて。
3. キー・センテンスを印象的に。
4. 質問を挟みながら、絵本の世界に引き込んで。
5. 最小限の日本語で、児童のつぶやきと流れを大切に。



(3) 成果・課題

<成 果>

- ・ 中学校 1 校、小学校 2 校の学習の様子をビデオ録画し、画像に残すことができた。それを他の所員とも共有し、指導力向上に役立てるよう方法を考えてきた。
- ・ 2015 年（平成 27 年） LEEP（英語教育推進リーダー中央研修）に参加している所員から最新の情報を得ることができた。各校に配布された DVD も活用しながら、現在の外国語活動の指導で大切なことを学ぶことができています。
- ・ 外国語チームの所員が実際に授業を行う中で、「教室英語」や「絵本の活用」に重点をおくことができた。そのうえで指導者が意識することによって、よりよい授業効果を目指すきっかけをもつことができた。
- ・ 教育研究所の蔵書（斉藤文庫）として、絵本を購入することができた。
- ・ 1 月 12 日に研修講座を実施し、多くの先生方に「教室英語」と「絵本の活用」についての実践指導例や指導上の留意点などを紹介することができた。
- ・ 一年の取組を DVD にまとめることができた。
- ・ 研究所のホームページに「外国語教育」のサイトを開設することができた。



外国語教育チームの QR コードです。

<課 題>

- ・ 撮りためた画像を市内の多くの学校で活用してもらったり、参考にしてもらったりするような取り組みを継続していく必要がある。
- ・ 研究所で購入した図書を、市内の先生方に活用してもらえるように広く宣伝する方法を整える。
- ・ LEEP（英語教育推進リーダー中央研修）や DVD から、引き続き最新の情報を学び、多くの先生方に還流する。

《参考図書・資料等》

- ◆ 小学校外国語活動研修ガイドブック（文部科学省）
- ◆ これのできる 小学校英語 必修化時代の授業 4 「読み聞かせ」の指導テキスト
2007（平成 19）年 景浦攻編集・直山木綿子著＜明治図書＞
- ◆ 小学校英語活動での絵本読み聞かせにおける教師の相互交渉スキルに関する事例研究
2009（平成 21）年 萬谷隆一（北海道教育大学札幌校）
- ◆ 2015（平成 27）年 LEEP（英語教育推進リーダー中央研修）資料